

茨城労働局発表
平成26年8月29日

【照会先】
茨城労働局労働基準部(健康安全課)
課長 青山 努
課長補佐 中島 英明
(直通電話)029(224)6215

労働災害防止に向けた集中的取組の実施について

～死亡者数の大幅な増加を受けて、労働災害防止団体等に緊急要請～

茨城労働局（局長 中屋敷 勝也）は、茨城県内の労働災害発生状況（平成26年7月末日現在）について、死亡災害が大幅に増加し、死傷者数（休業4日以上）も増加していることから、労働災害防止に向けた集中的な取組を実施します。

- 1 労働災害防止団体等に対する「緊急要請」の実施
- 2 建設業労働災害防止協会との合同パトロールの実施
- 3 全国労働衛生週間準備打合せ会等を活用した労働災害防止対策の推進

1 労働災害発生状況

（1）死亡災害発生状況

死亡者数は22人で、前年の16人に比べ、6人（37.5%）の大幅な増加となっています。

業種別にみると製造業、建設業、その他がそれぞれ6人、次いで運輸交通業で3人となっています。

事故の型は、高所からの墜落・転落が7人と最も多く、次いで、はさまれ・巻き込まれが5人、飛来・落下とおぼれがそれぞれ2人となっています。

(2) 死傷者数（休業4日以上）

死傷者数については1,410人で、前年の1,365人と比較し、45人（3.3%）の増加となっています。

特に災害が増加している主な業種をみると、建設業は190人で対前年比21人（+12.4%）、商業は185人で対前年比14人（+8.2%）、製造業は406人で対前年比4人（+1.0%）となっています。

事故の型は、転倒が301人（21%）と最も多く、次いで墜落・転落が267人（19%）、はさまれ・巻き込まれが219人（16%）の順となっています。

（資料No. 1～No. 4）

2 労働災害防止に向けた集中的取組の実施について

茨城労働局では、死亡者数の大幅な増加、死傷者数の増加に伴って、平成26年6月23日付けで茨城労働局長名により、労働災害防止関係団体等に対して要請を行いました。

しかし、その後も死亡災害の増加に歯止めがかからないことから、下記のとおり集中的な取組を行うことにしました。

記

(1) 労働災害防止団体等に対する「緊急要請」の実施

「緊急要請」は、30団体に対して要請を行います。

なお、特に労働災害の増加している建設業、商業の事業場を多く会員とする主な団体を局幹部が訪問し、直接、労働災害防止について説明し要請を行います。

（資料No. 5）

（直接、要請を行う5団体）

- ① 建設業労働災害防止協会茨城県支部
- ② 茨城県商工会議所連合会
- ③ 茨城県商工会連合会
- ④ 陸上貨物運送事業労働災害防止協会茨城県支部
- ⑤ 一般社団法人茨城労働基準協会連合会

なお、①建設業労働災害防止協会茨城県支部に対しては、9月4日（木）午後2時に局長が訪問し直接要請を行うので、その際取材を受けることが可能です。

当日の取材を希望される場合は、9月2日（火）までに当局健康安全課（課長

補佐（中島）までご連絡ください。

（２）建設業労働災害防止協会との合同パトロールの実施

建設業労働災害防止協会茨城県支部・各分会と茨城労働局・各労働基準監督署が合同で、建設現場の安全衛生パトロールを全県下で一斉に９月中に実施し、労働災害防止の取組の徹底を集中的に呼び掛けることにしています。

なお、建設業労働災害防止協会茨城県支部と茨城労働局幹部が合同で実施するパトロールについて、記者の同行取材の準備を進めています。日程等が決まりましたらお知らせいたします。

（３）全国労働衛生週間準備打合せ会等を活用した労働災害防止対策の推進

９月上旬に各労働基準監督署管内で開催する労働衛生週間準備打合せ会等において、署長が直接、参加事業場に対して、労働災害の現状及び集中的取組等を盛り込み、労働災害防止の取組の徹底を要請します。

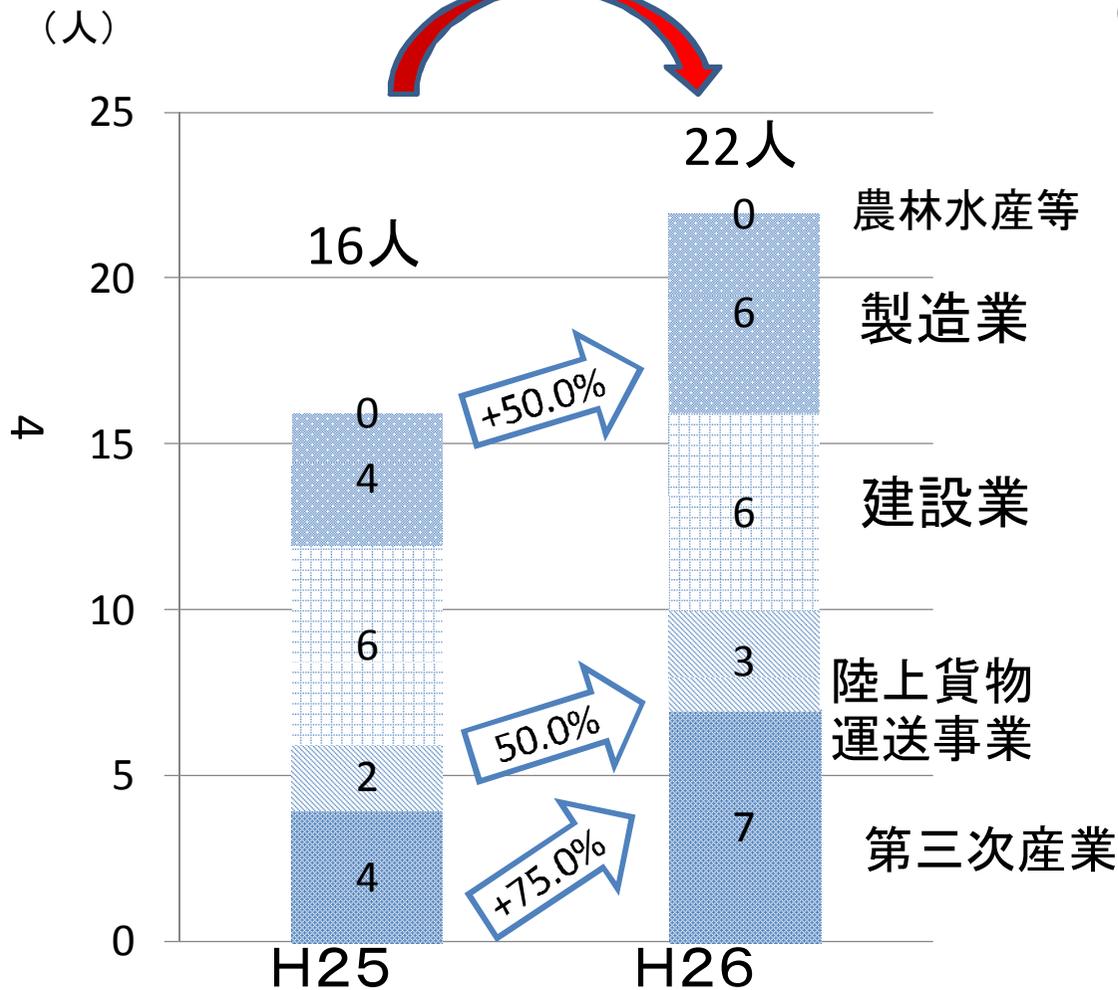
（資料No. 6）

平成26年(1月～7月速報値)の労働災害発生状況(茨城)

死亡災害が大幅に増加、第三次産業、製造業、建設業で多数の死亡

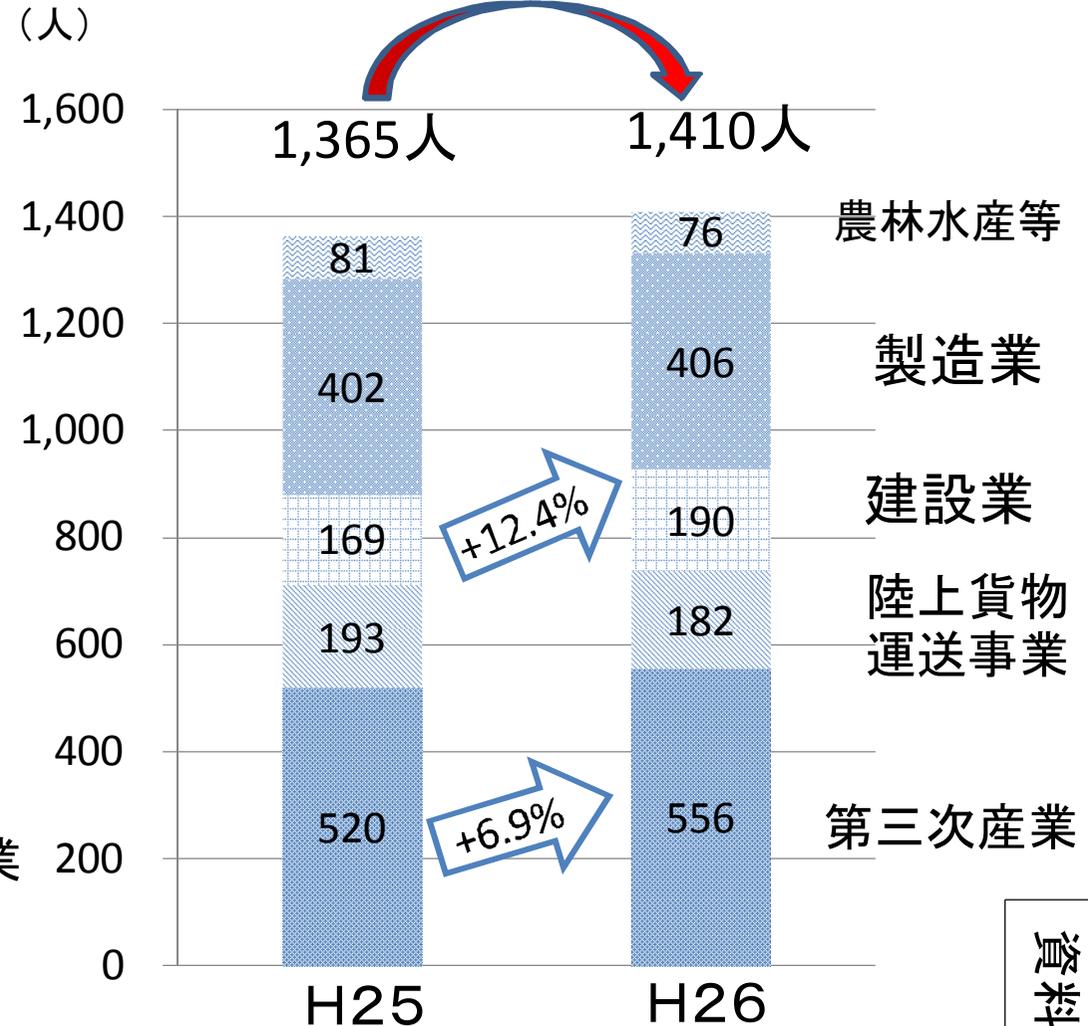
休業4日以上の死傷災害は、建設業で大幅に増加、第三次産業も増加。陸上貨物運送業と農林水産業では減少

+6人 (+37.5%)



出典: 死亡災害報告

+45人 (+3.3%)



出典: 労働者死傷病報告

表1 茨城県内の労働災害発生状況(平成26年)

(平成26年7月末現在)

業種別	休業4日以上		死亡者数		増減			
	25年 1月～7月	26年 1月～7月	25年 1月～7月	26年 1月～7月	休業(%)		死亡(%)	
計	1,365	1,410	16	22	45	(3.3)	6	(37.5)
製造業	402	406	4	6	4	(1.0)	2	(50.0)
食料品	116	113	0	0	-3	(-2.6)	0	(0.0)
化学	40	39	1	0	-1	(-2.5)	-1	(0.0)
金属製品	82	80	1	0	-2	(-2.4)	-1	(-100.0)
建設業	169	190	6	6	21	(12.4)	0	(0.0)
土木	58	41	3	1	-17	(-29.3)	-2	(-66.7)
建築	75	92	2	3	17	(22.7)	1	(50.0)
その他	36	57	1	2	21	(58.3)	1	(100.0)
運輸交通業	233	208	2	3	-25	(-10.7)	1	(50.0)
道路貨物運送業	193	182	2	3	-11	(-5.7)	1	(50.0)
貨物取扱業	11	18	0	0	7	(63.6)	0	(0.0)
農林業	17	22	0	0	5	(29.4)	0	(0.0)
畜産水産業	64	54	0	0	-10	(-15.6)	0	(0.0)
商業	171	185	4	1	14	(8.2)	-3	(-75.0)
小売業	132	163	3	1	31	(23.5)	-2	(-66.7)
社会福祉施設	50	47	0	0	-3	(-6.0)	0	(0.0)
その他	248	280	0	6	32	(12.9)	6	(0.0)

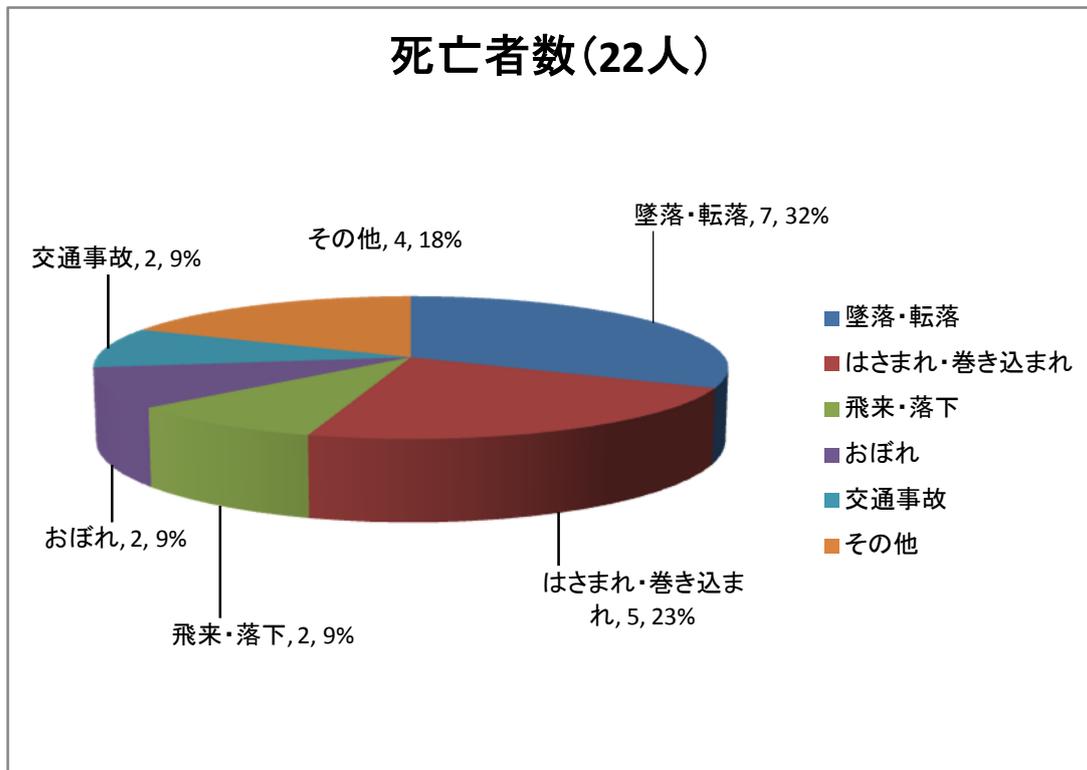
表2 茨城県内の労働災害発生状況(平成25年)

(確定)

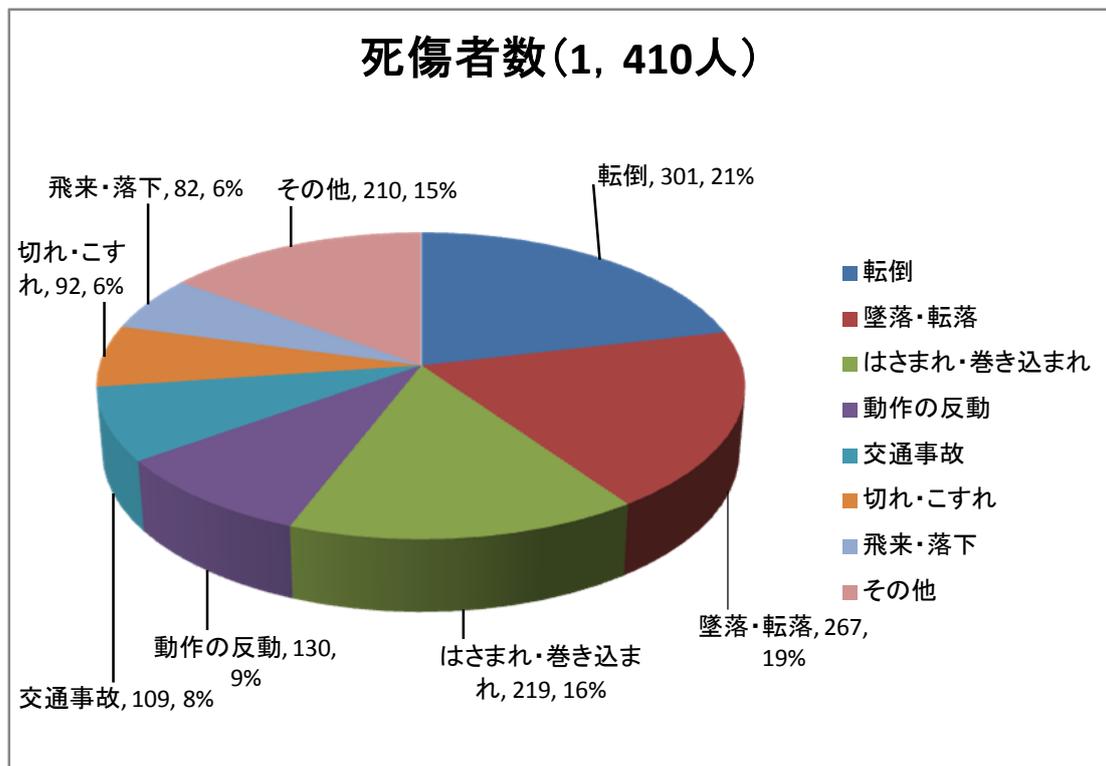
業種別	休業4日以上		死亡者数		増減			
	24年 1月～12月	25年 1月～12月	24年 1月～12月	25年 1月～12月	休業(%)		死亡(%)	
計	2,957	2,757	40	35	-200	(-6.8)	-5	(-12.5)
製造業	873	790	7	7	-83	(-9.5)	0	(0.0)
食料品	272	230	0	0	-42	(-15.4)	0	(0.0)
化学	70	60	2	2	-10	(-14.3)	0	(0.0)
金属製品	159	165	2	1	6	(3.8)	-1	(-50.0)
建設業	438	358	11	12	-80	(-18.3)	1	(9.1)
土木	109	101	7	4	-8	(-7.3)	-3	(-42.9)
建築	241	176	2	5	-65	(-27.0)	3	(150.0)
その他	88	81	2	3	-7	(-8.0)	1	(50.0)
運輸交通業	379	427	8	4	48	(12.7)	-4	(-50.0)
道路貨物運送業	327	371	7	4	44	(13.5)	-3	(-42.9)
貨物取扱業	33	31	0	0	-2	(-6.1)	0	(0.0)
農林業	54	41	2	1	-13	(-24.1)	-1	(-50.0)
畜産水産業	147	126	2	0	-21	(-14.3)	-2	(-100.0)
商業	358	346	6	8	-12	(-3.4)	2	(33.3)
小売業	283	272	6	7	-11	(-3.9)	1	(16.7)
社会福祉施設	118	109	0	0	-9	(-7.6)	0	(0.0)
その他	557	529	4	3	-28	(-5.0)	-1	(-25.0)

平成26年1月から7月の労働災害発生状況

1 死亡者数のグラフ



2 死傷者数のグラフ



平成 2 6 年 死 亡 災 害 事 例

資料No. 4

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.1 1月 9～10時	土工 60歳代 18年	その他の建築 工事業	墜落・転落	鉄骨スレート屋根の倉庫解体工事において、被災者が屋根上で、80cm 間隔で設けられた母屋材に足を乗せスレート材(181cm×71cm)を外す作業を行っていたところ、スレートを踏み抜いて約7m下のコンクリート床に墜落し、死亡した。 被災者が直前にいた場所には足場板(幅24cm、長さ400cm)が1枚設けられていた。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.2 2月 14～15時	作業員・ 技能者 60歳代 8ヶ月	セメント・ 同製品製造業	激突され	工場内にて、コンクリート擁壁を製造する生コンクリートが入ったコンクリートバケットをフォークリフトで搬送していたところ、フォークリフトの前方に立ち入った被災者に接触、被災者は死亡した。
			フォーク リフト	
No.3 3月 14～15時	管理者 60歳代 22年	その他の事業 —その他	おぼれ	毎月1回実施している川の水質検査のため、川岸からロープ付きステンレスバケツを川に投げ込み水を採取していたところ、川に転落しおぼれた。
			水	
No.4 3月 9～10時	型枠大工 20歳代 7年	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	墜落・転落	トラッククレーンにて単管パイプ100本(約490kg)を、躯体外周の大引きの上に置き、被災者が玉外しの作業を行っていたところ、支保工が外側に向かって崩壊したため、高さ約3.9mの場所から墜落し、落下した単管パイプの下敷きになって死亡した。
			支保工	
No.5 3月 8～9時	貨物自動車 運転者 50歳代 25年	一般貨物自動 車運送業	はさまれ・ 巻き込まれ	トラックの積荷の確認のため、荷台のウイング部を少し開け頭を入れて目視していたところ、足でウイングの開閉スイッチを押してしまい、アオリとウイングにはさまれ、25日後に死亡した。
			トラック	
No.6 4月 17～18時	鍛冶工 60歳代 35年	機械器具設置 工事業	崩壊・倒壊	工場において、ガス溶断でスクラップバケット(鉄くずを入れる鉄製容器、重量約50t)の解体を行っていたところ、円柱状の同バケットの一部(3.9m×2.19m×20mm、重量4.7t)が倒れ、鉄製のかごとの間にはさまれ死亡した。
			その他の装 置・設備	
No.7 4月 8～9時	金属工作 機械工 20歳代 9年	自動車・同付 属品製造業	飛来・落下	動力プレス(630t)でプレス作業の準備をするため、上下金型を取付け、試し打ちを行ったところ、上の金型が破損し、その金型破片が被災者に当たり死亡した。
			プレス機械	
No.8 4月 23～24時	自動車 運転者 30歳代 5年	その他の事業 —その他	交通事故 (道路)	労働者2人で乗用車にて走行中、電柱に衝突し、助手席にいた労働者が死亡し、運転者は負傷した。
			乗用車・バ ス・バイク	

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.9 4月 16～17時	その他の 作業者 50歳代 19年	採石業	はさまれ・ 巻き込まれ	採石場で、堆積した砕石を除去するため油圧ショベルを運転しコンベアの下を通過させようと高さを確認していたところ、操作レバーを誤って作動させてしまい、コンベアの下フレームと運転席にはさまれて死亡した。
			整地・運 搬・積込用 機械	
No.10 4月 9～10時	技術者 30歳代 5年	その他の 小売業	飛来・落下	フォークリフト（4t）を用いてトラックから精密機械（約1.5t）を降ろす作業中、当該機械をフォークリフトで持ち上げたところ、機械が落下し、フォークリフト付近で誘導作業をしていた被災者に当たり死亡した。
			機械装置	
No.11 4月 8～9時	貨物自動車 運転者 50歳代 10ヶ月	その他の道路 貨物運送業	はさまれ・ 巻き込まれ	トラックで配送作業中、配送先の敷地内（緩やかな傾斜）にトラックを停車し、エンジンを止めて降車したところ、突然、トラックが後退し始めたため、被災者はトラックを停止させようとして、トラックと道路脇の石垣の間に身体をはさまれて振り落とされ、トラックの前輪にひかれて死亡した。
			トラック	
No.12 5月 8～9時	作業者・ 技能者 20歳代 2年	その他の事業 —その他	おぼれ	岸壁に船を係留するため、被災者は船からバースへ向けて投げられた先端にゴム重りが付いたロープを、岸壁で拾おうとして海へ落ちて溺死した。
			水	
No.13 5月 13～14時	ダクト工 20歳代 1年	機械器具設置 工事業	墜落・転落	自動車整備工場の塗装ブース設置工事において、スレート屋根の上で排気ダクトの組立、取付け作業を行っていたところ、歩み板及びトタンの上を移動中に転倒し、トタンの横のスレートを踏み抜き、高さ9mの高さから墜落し死亡した。
			屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	
No.14 5月 1～2時	自動車 運転者 30歳代 3年	その他の事業 —その他	交通事故 （道路）	運転代行の業務中、後方から来た乗用車に追突され、運転していた被災者が死亡し、同乗していた労働者も重傷を負った。
			乗用車・バ ス・バイク	
No.15 5月 16～17時	貨物自動車 運転者 60歳代 32年	セメント・同 製品製造業	墜落・転落	コンクリート片の処理機内部の清掃作業が終了し、処理機のカバー天板を元に戻すため、トラクターショベルのバケットで天板を持ち上げたところ、天板が傾いた。そのため、被災者がそれを直そうとして処理機の角パイプとショベルのバケットに足を掛けていたところ、バランスを崩し高さ2.45m下のコンクリート床に墜落し死亡した。
			その他の装 置・設備	

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.16 6月 16～17時	作業員・ 技能者 70歳代 19年	その他の建築 工事業	墜落・転落 屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	スレート屋根葺き建物の漏水補修工事のため、2名でスレート屋根上で作業中、被災者はスレート屋根を踏み抜き、高さ約4.9m下のコンクリート床に墜落し、死亡した。
No.17 6月 15～16時	作業員・ 技能者 60歳代 5年	自動車・同付 属品製造業	墜落・転落 フォーク リフト	被災者はフォークリフトに取付た搬器に乗り、高さ6mの棚から部品の在庫を取り出した後、搬器を下ろすように合図し、フォークリフト運転者が搬器を下ろしていたところ、ドスンという音がした。確認したところ搬器内に被災者が倒れていた。その後、収容先の病院で死亡した。
No.18 6月 17～18時	製造工 30歳代 4ヶ月	その他の 木材・木製品 製造業	はさまれ・ 巻き込まれ その他の動 力運搬機	木材加工ラインにおいて、木材を次のラインに投入する投入機に不都合が発生したため、投入機の内部に入ってトラブル処理をしていたところ、押込機とリフターのロールの間にはさまれ、死亡した。
No.19 7月 14～15時	土工 50歳代 33年	道路建設 工事業	高温・低温 の物との接 触 高温・低温 環境	道路工事現場において、草刈作業を行っていたところ、気分が悪くなり病院に搬送されたが熱中症により死亡した。
No.20 5月 23～24時	作業員・ 技能者 50歳代 2年	その他の事業 ーその他	火災 送配線等	作業終了後、被災者は会社から借用している部屋に戻り、ベッドで寝ていたところ、延長コードから発火し、火災となって死亡した。
No.21 7月 23～24時	製造工 30歳代 15年	耐火物製造業	はさまれ・ 巻き込まれ コンベア	被災者はベルトコンベア下の床を清掃作業中、ベルトコンベアとローラーに巻き込まれているところを発見された。
No.22 6月 7～8時	運転者 50歳代 11年	一般貨物自動 車運送業	墜落・転落 トラック	積み荷の荷卸し待機中に、以前からトラックの荷台（ウイングボディ）天井部から雨漏りしていたので補修を行うため、荷台の屋根上（高さ3.3m）に上って作業を行っていたところ、墜落し死亡した。

茨労発基第 1215 号
平成 26 年 8 月 28 日

建設業労働災害防止協会
茨城県支部長殿

茨城労働局長

労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請について

平素より、労働災害防止をはじめとする労働行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、茨城県内における平成 26 年の「休業 4 日以上¹の死傷者数」(7 月末現在)は、全産業で 1,410 人、対前年比で 45 人(3.3%)の増加となり、「死亡者数」は 22 人で対前年比 6 人(37.5%)の大幅な増加となっており、極めて憂慮すべき事態となっております。

このような労働災害の増加傾向に歯止めをかけるため、本年 6 月 23 日に「労働災害減少に向けた緊急要請」を行ったところですが、その後も労働災害の増加は続いており、更なる労働災害防止対策の強化が必要です。

このため、貴団体におかれましては、下記事項にご留意の上、労働災害防止の取組をより一層強化していただくとともに、傘下の会員事業場に対する周知について特段のご配慮をお願いいたたく再度要請いたします。

記

- 1 経営トップの参加の下に職場の安全パトロールを実施するなど、職場内における**安全衛生活動の総点検を実施すること**。
- 2 安全管理者等の選任義務がない事業場においても安全の担当者(安全推進者)を配置するなど、事業場の**安全管理体制を充実すること**。
- 3 雇入れ時教育を徹底するなど、**効果的な安全衛生教育を実施すること**。
- 4 5S 活動、危険予知活動、ヒヤリ・ハット対策、リスクアセスメント等の日常的な**安全活動の活性化を図ること**。

各労働基準監督署管内の全国労働衛生週間準備打合せ会日程

監督署	開催日時	開催場所
水戸	9月 4日 (木) 13時 30分	常陸太田市生涯学習センター
水戸	9月 11日 (木) 13時 30分	茨城県立県民文化センター
日立	9月 12日 (金) 13時 30分	日立シビックセンター
土浦	9月 5日 (金) 13時 30分	土浦市民会館
筑西	9月 5日 (金) 13時 30分	茨城県県西生涯学習センター
古河	9月 2日 (火) 13時 30分	古河市生涯学習センター とねミドリ館
常総	9月 4日 (木) 13時 30分	ポリテクセンター茨城
龍ヶ崎	9月 5日 (金) 13時 30分	流通経済大学
鹿嶋	9月 3日 (水) 13時 30分	鹿嶋勤労文化会館

※各地区の準備打合せ会は報道機関の取材が可能です。当日の取材をご希望される場合は、当局健康安全課までご連絡ください。

(問合せ先)

茨城労働局健康安全課

課長補佐 中島

電 話：029-224-6215